

議会・委員会

視察報告

議員 下條村視察研修

下呂市にとって人口減少対策、行財政改革が急務という認識から、11月6日に議員14名で「健全な財力、増え続ける人口、職員が猛烈に働く」など、『奇跡の村』と言われている長野県下條村で研修を行いました。

民間出身で就任以来、強力なリーダーシップで行政運営をされている伊藤村長の話をお聞きし、少子化対策、高齢者対策、200万円以下の資材支給事業等の説明を受けました。その後、村の単費で建築した2LDKで家賃3万6千円の市営住宅を視察し、実りある研修となりました。



下條村の伊藤村長

産業経済常任委員会管外視察



郡上市にて少水力発電の説明を受ける委員

10月21・22日の2日間で4つの施設の視察を次の通り行いました。

①小水力発電の取り組みとして、郡上市白鳥町石徹白の「NPO法人やすらぎの里いとしろ」理事長の説明を受けました。②市街地の活性化策として、福井県の大野市で市の担当者から、中心市街地活性化の7事業の説明と、越前おおのブランド戦略の説明を受けました。③有害鳥獣処理・加工施設として福井県若狭町を訪れ、町職員から嶺南6市町が課題解決のため協働して運用している有害鳥獣処理施設、食肉処理加工施設の説明を受けました。④冬春トマトの新規就農者育成研修施設がある岐阜県海津市を訪れ、26年4月から運営開始された県の就農支援センターについて担当課長から説明を受けました。いずれの事業も当市で課題となっている事案であり、今後の委員会活動の参考といたします。

総務教育民生常任委員会管外視察

10月22・23日の2日間で愛知県刈谷市・東海市・滋賀県近江八幡市の3ヶ所で視察を行いました。刈谷市では、小中学生のスマホ・携帯電話の利用規制について説明を受けました。規制については保護者も好意的であるが、いかに継続していくか、その仕組みづくりが重要と感じました。東海市では、若者の晩婚化・非婚化について支援対策の効果と現状の説明を受けました。各種イベントなどで女性の参加率が低いこと、適齢期の女性の人口が男性と比較すると少ないことなど課題が浮き彫りになっていました。近江八幡市では認知症対策について、個人、団体、企業、小中学生を対象に助け合いの輪の啓発や、認知症サポーターの育成を行っている話を伺いました。下呂市でも今後に生かせる事例で、いい参考になりました。



東海市にて説明を受ける委員

一般質問 14人が市政を問う



4 番

今井政嘉議員

住みなくなるまちづくり

1週間、数ヶ月限定で体験移住を行う等、下呂市の移住対策はどのようなことを行っているのか。

◆経営管理部長

市では、県が名古屋で行う移住相談会に参加したり、「下呂市での就職・就農に関する支援ダイジェスト」を作成し、移住していただけるようPRしています。今後は関係部署と連携し、短期間の住宅提供など可能な範囲で対応します。

人口維持のために

人口維持のためには「対策」では無く「政策」が必要。平成27年度に向けてどのような政策を行うのか。政策達成に向けては総花的な政策ではなく、政策目標達成の為に具体的な数字、成果目標等を定めた対策が必要である。どのような政策を行うのか。

◆経営管理部長

人口維持のため大切なことは、若い方々に下呂市にとどまってもらう、戻ってきてもらう、新たに下呂市へ来ていただくことだと考

えています。第2次総合計画の中で、「もっと住みたい訪れたいみんなのふるさとわくわく下呂市」を市の将来像として誰にとっても誇りと愛着の持てるふるさととなることを基本理念とし、ふるさとの魅力づくりを行います。

一向に方向性が見えない

「公の施設の見直し」

建設経年や維持経費・取り壊し費用など、一定基準により判断できる「公共施設白書」の早期策定を進めるべきでは

◆総務部長

「公共施設白書」はありませんが、今後10年間の施設の更新や長寿命化、統廃合など基本的な考えを盛り込んだ「公共施設等総合管理計画」の策定を進めています。この計画を策定する事で、公共施設の最適な配置が実現できると考えます。

県立益田清風高校の定員減

来年度より普通科の定員減が発表されました。下呂市内の高校として下呂市の積極的取組みが必要では

◆教育長

益田清風高校だから進学したいと思われるように、特色ある教育課程の推進と、文武両道での活躍が続けられるよう県教育委員会にお願いしました。市内の高校の発展を願い、応援を続けます。



9 番

一木良一議員

小中学生のスマホ・携帯利用について

①利用率と依存度は

◆教育長

「自分の携帯・スマホを持っていく」割合は小学生で12%、中学生で11%です。「ほぼ毎日つかう」割合は小学生で10%、中学生で24%となっています。

②スマホ・携帯によるいじめやトラブルの実態は

◆教育長

掲示板への誹謗中傷を書き込む事案や、ネットで知り合った人との接触未遂事案など、市内でもトラブルは報告されています。

③利用に関しての統一ルールの策定と児童生徒や保護者、家族に対する啓発はどのように進めてきたか。

◆教育長

小中学校長会・PTAが連携したルールの策定に向けて検討をしています。教育委員会では機会があるたび保護者などに啓発活動を行います。

人口問題と未婚者支援対策

①市の現状は

◆福祉部長

市内では出生数・婚姻数ともに減少しています。さらに晩婚化による、出産年齢の高齢化が進んでいます。

②国の地方創生関連法案に沿った市の一日でも早い計画案の策定を

◆福祉部長

各種団体と連携し、結婚・出産・育児・就学・就職というライフステージのそれぞれの時期における一連した支援を総合的にを行い、未婚者支援対策を進めます。

旧下呂温泉病院の跡地活用について

新庁舎整備検討委員会からの報告及び市政懇談会における市民の意見と反応を受け、今後の市の方針とスケジュールは

◆市長

新庁舎整備検討委員会の皆様には、10回に及び熱心な協議をしていただき、深く感謝いたします。委員会の答申では、行政運営の継続性・経済性・効率性や防災面から、合併特例債が利用できる平成30年度までに整備する必要があると判断していただきました。場所についても下呂温泉病院跡地が優れているとの事でした。市政懇談会では、財政状況が良くないのに庁舎など必要ないといった意見など様々な意見をいただきました。近日中に方向性を出します。